

長崎県幼児教育センターだより



No. 4



2024. 6. 27



～園長等運営管理協議会開催！～

6月13日、14日に園長等運営管理協議会を開催しました。13日は、県庁においての研修、14日は長崎市の中央こども園において保育参観、協議会を行い、多くの方にご参加いただきました。

13日には東京家政大学教授の岩立京子先生にご講義をいただきました。「子どもの主体的な姿を引き出すには、保育者の『足場がけ』が必要です。保育者の力量も問われるが、そこに保育の奥深さがある。」など保育者の役割について、豊富な経験と具体的な事例を交えながら明解に話していただきました。また、職員への肯定的なフィードバックを心掛けることや責任体制を整備して教職員間の共通理解に努めることなど、よりよい職場づくりのための多くの示唆をいただきました。



午後からは文部科学省初等中等教育局視学官の横山真貴子先生に「小学校教育へつながる幼児期の遊びの中の学び」についてご講義をいただきました。こどもの資質能力をつなぐ、「やってみたい」の主体性をつなぐ連携をめざしていくことや「幼保小連携を進めるには幼児教育側からの少々強引かなと思われるくらいのプッシュをしたら意外と進む。職員同士の交流については幼小の年間計画に入れ込む」など力強いお言葉で後押ししてくださいました。



14日の中央こども園では、廃品を使った遊びや園庭での運動遊び、園内にある“森”での生き物探しなど、子どもが主体的に取り組むことができるような環境構成や、保育者の援助が多く見られました。協議では、子ども同士の関わりを増やす保育者の援助、環境のつくり方や留意点、生き物の命についてまで話がおよび、実りの多い協議会となりました。今回、公開保育を提供してくださった中央こども園の先生方、本当にありがとうございました。



～新規採用職員オンライン研修～



6月3, 4日に長崎県教育センターにおいて、新規採用保育者の研修も行われ、県内各市町49名の参加がありました。

この研修内容のダイジェスト版を「オンライン研修」として7月26日に開催します。すでに5月28日付6こ未第71号「幼稚園・保育所等新規採用職員オンライン研修（前期）」でお知らせをしておりますが、申込期限は7月5日（金）となっていますので、もし、1年目の先生で受講希望がありましたら参加についてご配慮いただきますようお願いいたします。下記のリンクより、研修実施要項をご確認の上、申込みをしてください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2024/06/1718843503.pdf>

- ・離島に勤務している
 - ・仕事が忙しくて出れない
 - ・周りに新任職員がいない
 - ・研修場所が遠い
- など研修を受ける機会が少ない

こんな先生
におすすめ



- ・要領や指針解説に立ち返り、5つの領域と活動内容をつなげて学びます
- ・特別支援教育や人権教育について学びます
- ・グループ協議もあります

こんな研修です



- ・自分の仕事ぶりがどうか、客観的に振り返ることができました
- ・資料がわかりやすく、講師の方の話も理解しやすかったです
- ・学生の時に習った内容もあり、更に理解を深めることができました
- ・各園の同世代の方々と情報共有をすることができ、気持ちが少し軽くなり前向きになることができました

昨年度の感想より



（文責：高田 敦）

雨の日、楽しい！

ある雨の日、保育園を訪問しました。そこでは、ビニール傘に絵を描いたり、シールを張ったりした世界に一つだけの自分の傘を持って、はだして園庭に出ていました。ぬかるみをはだして歩く感触は何とも楽しいものです。子どもからは「雨の日、楽しい！」「楽しい！先生ありがとう！」「気持ちが良すぎました！」なんて言葉が聞こえてきました。こんな遊びができれば、雨の日が大好きになるでしょうね。



中には、はだしてぬかるみを歩くことに躊躇する子どももいました。

先生は決して無理強いせず、「靴、はく？」と尋ねましたが、その子が靴下を脱いでのはだしになっていたのので試しに抱きかかえて、そっと地面に下ろしてみました。すると恐る恐る



足を踏み出して歩くことができました。一歩壁を乗り越えた瞬間でした。

先生が温かく寄り添いながら、そっと背中を押すことも大切なのだと教えていただきました。

（センター長 室野）

お詫び 先日、幼児期の教育・保育力向上研修会の実施要項を送付しましたが、二次元コードが抜けておりました。右に貼っておりますので、こちらからもお申し込みできます。別添として実施要項も添付しております。

令和6年度 幼児期の教育・保育力
向上研修会参加申込み

